

SDGs セミナー 日常生活に取り入れられるポイントを学ぶ

昨年12月1日、市民向けセミナー「身近に感じるSDGs」が市役所で開かれ、市民など約50人が参加しました。講師に国立環境研究所 福島地域協働研究拠点主任研究員の辻岳史さんと株式会社ホップジャパン 代表取締役の本間誠さんをお招きし、SDGsという言葉は聞いたことがあるけれど内容が分からない、といった方のためにSDGsの概要から実際の取り組み事例までをご講演いただきました。

参加者からは、今の自分にでもできることを継続して取り組んでいきたいとの声が聞かれました。



採用力強化セミナー 最新の求人市場や求人広告のPR項目を学ぶ

昨年11月29日、移住者就労支援事業の「採用力強化セミナー」がテレワークセンターテラス石森で開かれ、市内企業採用担当者など19人が参加しました。

講師にディップ株式会社の竹内和喜さんをお招きし、最新の求人市場や求人広告作成でPRすべき項目などを学びました。

市では移住者の就労先獲得を目的に、市内企業の求人情報掲載・企業紹介動画の作成を無料で行っています。お気軽にお問い合わせください。

☎総務部 企画調整課 ☎61-7615



要保護児童対策地域協議会 子どもを守るための正しい知識と支援の方法を学ぶ

昨年11月21日、「田村市要保護児童対策地域協議会 テーマ別勉強部会」が市役所で開かれ、約30人が参加しました。講師に福島大学人間発達文化研究科 特任教授の安部郁子さんをお招きし、「精神疾患が疑われる事例への介入と対応」をテーマに研修を行い、具体的な支援方法について理解を深めました。

参加者からは、ネットワークによる支援の大切さを改めて感じたとの声を多く聞くことができました。

この勉強部会は、協議会の関係機関職員が支援体制のさらなる強化を図るために毎年開かれています。



手話奉仕員養成講座 基礎課程が閉講 11人へ修了証を交付

昨年11月22日、令和4年度手話奉仕員養成講座(基礎課程)の閉講式が市役所で行われ、受講者11人へ修了証が交付されました。最後の講座では各自テーマを決め、手話でスピーチし2年間の成果を披露しました。今後、田村市登録手話通訳者として活躍されることを期待しています。

「手話教室」参加者募集

出張手話教室を開催しています。対象は、学校や事業所、市内の団体などで参加者が5人以上のもの。ご希望の方はご連絡ください。

☎・☎保健福祉部 社会福祉課 ☎81-2273



ワークショップ 新しいビジネスの実現に向け、活発な意見交換

移住者による創業・起業支援事業の「ビジネスアイデアワークショップ」が昨年11月20日にスカイパレスときわ、同23日にグリーンパーク都路で開かれ、市内外から合計13人が参加しました。

ワークショップでは、昆虫やホップなどの資源を活用した新しいビジネスについて、参加者全員で意見を出し合いました。県外の参加者からは、ビジネスの実現化に向けて、今後も田村市と関わっていききたいとの声が聞かれました。



▲11/20開催「昆虫ビジネスアイデアワークショップ」の参加者

障害者週間 市内福祉事業所パネル展示・製品販売

昨年12月1日から15日まで、市内の障害福祉サービス事業所の活動の様子や案内、作品などを紹介する展示会が市役所で行われました。また、期間中は手芸アクセサリー、シフォンケーキなどの販売も行われ、買い求める市民でにぎわいました。この取り組みは障害者週間に合わせて実施しており、障害のある方への理解を深めるとともに障害のある方が社会、文化などさまざまな分野で活動する意欲を高めるよう関係機関と力を合わせて今後も行います。



図画コンクール 阿武隈川上流児童図画コンクール

昨年12月4日、令和4年度阿武隈川上流児童図画コンクール(阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会主催)の表彰式が福島市のラコパふくしまで開催され、船引小学校の4人の生徒が表彰されました。

受賞作品は、阿武隈川流域内の各市町村で巡回展示を行います。田村市は、2月16日(木)から24日(金)まで船引公民館1階ロビーで展示する予定です。

各部門の受賞者は次のとおり。

【図画部門】

- 福島河川国道事務所長賞
柳沼 弘人さん(船引小学校1年)
※写真:上
- 優秀賞
大河原 仁胡さん(同3年)

【ポスター部門】

- 福島県生活環境部長賞
藤元 叶多さん(同5年) ※写真:下
- 優秀賞
吉田 桜子さん(同2年)

